

橋渡し研究戦略的推進プログラム 令和元年度事後評価対象課題一覧

通し番号	橋渡し拠点	研究開発課題名	研究開発代表者	研究代表者所属機関名
シーズB(3年以内に非臨床POC取得を目指す課題)				
1	北海道大学	がん幹細胞および抗癌剤耐性がん細胞に作用する革新的抗腫瘍核酸医薬品の開発	田原 栄俊	広島大学
2	東北大学	新規Kir6.2チャネル阻害薬によるアルツハイマー病治療薬の創製(東北大学B51)	森口 茂樹	東北大学
3	東北大学	多能性幹細胞(Muse細胞)による中枢神経再生療法の開発	富永 悌二	東北大学
4	東京大学	コンピュータビジョンと拡張現実ディスプレイを統合した手術支援システムの実用化	末永 英之	東京大学
5	東京大学	ナノゲル型経鼻肺炎球菌ワクチンの開発	清野 宏	東京大学
6	東京大学	髄液中リゾリン脂質測定の客観的疼痛マーカーとしての臨床検査への導入	矢富 裕	東京大学
7	慶應義塾大学	ヒトiPS細胞を活用した新規肝硬変治療法の開発	谷口 英樹	横浜市立大学
8	慶應義塾大学	再生組織の強度制御法を用いた臍帯由来人工血管の開発	石川 義弘	横浜市立大学
9	名古屋大学	骨腫瘍切除後の再建のためのオーダーメイドインプラントの研究開発	安田 剛敏	富山大学
10	京都大学	末梢神経損傷を対象とする神経再生補助材の開発	鈴木 義久	田附興風会
11	京都大学	独自開発の全身性の腫瘍溶解性・免疫療法の非臨床開発	小賤 健一郎	鹿児島大学
12	京都大学	生体組織病変のリアルタイム光バイオプシを可能とする、生体染色と共焦点レーザー顕微内視鏡を用いた迅速画像病理診断技術の開発	溝口 明	三重大学
13	京都大学	バイオ3Dプリンタにより作製した三次元神経導管(Bio 3D Conduit)を用いた革新的末梢神経再生法の臨床開発	池口 良輔	京都大学
14	大阪大学	中枢神経回路の修復を促進する抗体治療薬の実用化	山下 俊英	大阪大学
15	大阪大学	ナローバンドUVBを発光するLEDを用いたアレルギー性鼻炎の光治療装置の開発	武田 憲昭	徳島大学
16	大阪大学	CXCL2遺伝子とHVJ-Eの配合による癌免疫遺伝子治療剤の創出を目指した研究	金田 安史	大阪大学
17	岡山大学	ケトン食療法に基づく難治性てんかん治療薬の開発	井上 剛	岡山大学
18	岡山大学	先天性骨系統疾患に対する高純度間葉系幹細胞を用いた骨再生技術開発	竹谷 健	島根大学
19	岡山大学	神経難病GM2ガングリオシドーシスの遺伝子治療法開発	伊藤 孝司	徳島大学
20	九州大学	抗重症熱性血小板減少症候群(SFTS)薬としての新規アモジアキン誘導体の開発研究	馬場 昌範	鹿児島大学
21	筑波大学	新規臨界ハイドロゲルを用いた人工硝子体の開発	岡本 史樹	筑波大学
22	筑波大学	耐圧強度・組織追従性に優れた生体親和性呼吸器外科用接着剤の開発	田口 哲志	物質・材料研究機構

通し番号	橋渡し拠点	研究開発課題名	研究開発代表者	研究代表者所属機関名
23	筑波大学	ポスト抗体医薬としての癌細胞糖鎖標的レクチン創薬:rBC2レクチン-Drug融合体による膵がん治療の前臨床試験	小田 竜也	筑波大学
シーズC(3年以内に臨床POC取得を目指す課題)				
24	東北大学	慢性便秘薬ルビプロストンの慢性腎不全治療薬としての適応拡大を目指す臨床研究	阿部 高明	東北大学
25	東京大学	遺伝子組換えヘルペスウイルスを用いたがんのウイルス療法の臨床開発	藤堂 具紀	東京大学
26	慶應義塾大学	Pendred症候群/DFNB4内耳障害(難聴・めまい)に対するシロリムス少量療法	小川 郁	慶應義塾大学
27	慶應義塾大学	(放射性標識)新規AMPA受容体PETイメージング製剤によるてんかん焦点同定の補助診断薬としての臨床開発	高橋 琢哉	横浜市立大学
28	京都大学	難治性眼表面疾患に対する培養自家口腔粘膜上皮シート移植	外園 千恵	京都府立医科大学
29	京都大学	非切除膵癌を対象とした腫瘍溶解性ウイルスの腫瘍内局所投与療法の有効性と安全性に関する医師主導治験	井戸 章雄	鹿児島大学
30	大阪大学	がん特異的アミノ酸トランスポーター阻害剤の併用による膵がんに対する効果的な化学療法の開発	竹原 徹郎	大阪大学
31	大阪大学	骨髄間葉系幹細胞動員活性に基づく表皮水疱症治療薬開発	玉井 克人	大阪大学
32	大阪大学	ワイヤレス体内埋込型ブレイン・マシン・インターフェースによる運動機能・意思伝達機能再建装置の臨床試験	平田 雅之	大阪大学
33	九州大学	高性能国産新規RNAウイルスベクターによる虚血肢治療製剤の開発	米満 吉和	九州大学
34	九州大学	インフリキシマブ治療抵抗性クローン病患者を対象としたアドレノメデュリン製剤による医師主導治験の実施	北村 和雄	宮崎大学